

堀文子展

堀文子は女子美術専門学校(現・女子美術大学)在学中の1941年、新しい日本画を目指す新美術人協会に出品し、戦後も創造美術、新制作協会日本画部、創画会と常に革新的なグループに属し、新しい日本画の創造に邁進し、受賞を重ね、注目されました。久しぶりの出品となる「廃墟」「八丈島風景B」は創造美術展の奨励賞受賞作品です。1952年には第2回上村松園賞を受賞しています。

初期のアンリ・ルソーなどの影響を感じさせる作品ののち、「霧の野」前後から自然の花や風景を新鮮な感性でとらえた作品を発表するようになりますが、1961年から3年に及ぶ欧米やメキシコ旅行、イタリア・トスカナでの6年間の生活、ヒマラヤやアマゾンなど辺境各地への旅行は、作家の感動となり、旧来の日本画にない技法や、自由なテーマで、清新な作品を生み出しました。また近年は、顕微鏡で覗く微生物の世界や、切絵にも貪欲な作家魂をのぞかせ、90歳を超えてなお旺盛な創作活動を展開しています。

一方、早くから「ビップとちようちよう」「くるみわりにんぎょう」など絵本でも高い評価を得てきましたが、近年はウィットに富む画文集などにより、戦後、女性作家の先駆けとして幾多の困難を乗り越え、自我を確立した女性としての箴言や人生観が大きな憧憬を集めています。

初期から現在にいたる代表作を中心とする約80点の作品によって多彩な活躍を見せる堀文子の画業をご堪能下さい。



廃墟 1948年 秋田県立近代美術館



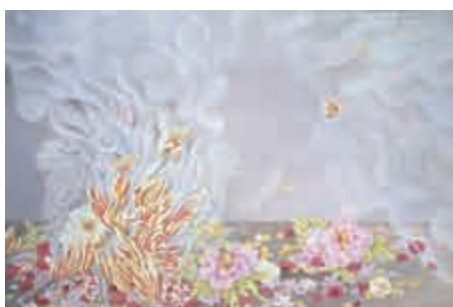
流れ行く山の季節 1990年 佐藤美術館



霧の野 1960年 東京国立近代美術館



仮面と老婆 1966年



春炎 1970年 箱根・芦ノ湖 成川美術館



早苗の頃 1983年



ビップとちようちよう 1956年 宮城県美術館



終り 1992年



お伽話 2009年

関連事業

対談「堀文子先生に伺う」聞き手 草薙奈津子(当館館長)
10月16日(土) 14:00-15:15
ミュージアム・ホール(申込み不要、先着順)

学芸員による解説会

解説:勝山滋(当館学芸員)
10月30日(土)、11月13日(土) 14:00-15:00
ミュージアム・ホール(申し込み不要、先着順)

同時開催

磯江毅展(-11月7日)
高瀬省三・石橋聖肖展(11月9日-)

[交通案内]

JR東京駅から東海道線で約1時間、JR平塚駅から徒歩20分。
または平塚駅東改札口(北口)よりバス4番乗り場乗車「美術館入口」
または「日産車体前」下車。無料駐車場70台。

平塚市美術館

SHONAN
THE HIRATSUKA MUSEUM OF ART

〒254-0073 神奈川県平塚市西八幡1-3-3
tel. 0463-35-2111 fax. 0463-35-2741
<http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/art-muse/>

